# エコアクション21 環境経営レポート

令和6年度

野越団地(1C-1棟外4棟)屋外給水設備(共用部)改修工事

熊本市優良工事表彰受賞



工事概要 機械設備工事(給水設備工事・増圧ポンプ設置工事)

#### 第7版

取組み期間:令和5年7月 ~ 令和6年6月

発行日:令和6年9月2日



# 株式会社 HACCYOU (ハッチョウ)

# 目 次

1.	事業概要	•	•	•	3
2.	環境経営方針	•	•	•	7
3.	環境経営システム実施体制	•	•	•	8
4.	環境負荷の実績	•	•	•	9
5.	主な環境活動計画と評価	•	•	•	10
6.	目標の実績と評価	•	•	•	13
7.	環境関連法規等の遵守状況	•	•	•	14
8.	その他活動	•	•	•	15
9.	代表者の評価と見直し	•	•	•	19

#### 1. 事業概要

(1) 事業所名:株式会社 HACCYOU

(2) 代表者名: 代表取締役 田中 和徳

(3) 所在地: 熊本県熊本市中央区神水1丁目14番68号 TEL (096) 381-1254 FAX (096) 381-1908 E-mail haccyousetubi@yahoo.co.jp

(4) 環境管理責任者:田中 和徳

(5) 設立年月日: 平成3年3月25日(創業 昭和28年5月)

(6) 資本金: 2,000万円

#### (7) 事業規模

	令和2年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
年間売上	1億2700万円	1億7160万円	1億7619万	1億8207万
従業員数	11名	11名	8名	8名
事業所床面積	87.09 m²	87.09 m²	87.09 m²	87.09 m²

#### (8) 事業内容

給排水衛生設備工事・冷暖房換気設備工事・プロパンガス設備工事 浄化槽設備工事・消火設備工事

#### (9) 事業年度

期首: 1月1日 期末:12月31日

#### (10) 許可内容

建設業許可	登録番号	有効期限	業種区分
熊本県	知事許可	┃ ┛ 令和11年2月28日   管工事業・消防施設コ	
<b>二八八</b>	(特-5)第2081号	<b>刊和11</b>	自工 <del>学术</del>

#### (11) 保有設備の概要

所有設備機材一覧

名 称	種 類	能力	所有数量
貨物自動車	ダンプカー	3,000kg	2 台
軽自動車	トラック	660cc以下	5 台
掘削機 ヤンマー		Β2Σ	1 台
掘削機 コベルコ		SK005-5	1 台
掘削機 コベルコ		SK17SR-5	1 台
掘削機 ヤンマー		B30U	1 台



貨物自動車 (ダンプカー) 熊本 430 さ 8805 (令和4年導入)



掘削機 ヤンマー B2Σ (平成27年導入)



掘削機 コベルコ SK005-5 (令和元年導入)



掘削機 コベルコ SK17SR-5 (令和2年導入)



掘削機 ヤンマー B30U (令和3年導入)



(左)水素カー 1台目トヨタ ミライ

(右)水素カー 2台目トヨタ クラウン



水素カー トヨタミライ導入 熊本 331 つ 88-01 入庫 令和3年10月



水素カー トヨタ クラウン 導入 熊本 331 ね 88-01 入庫 令和6年6月

#### 2 環境経営方針

#### □環境理念

株式会社 HACCYOUは、事業活動を通じて、地球環境保全という 21世紀最大なテーマに、熊本の自然な恵みである地下水を愛する企業として、環境への影響を認識し、地域社会に貢献できる活力のある企業を目指して環境経営・健康経営に取り組んで参ります。

#### □基本方針

株式会社 HACCYOUは、環境と経営を両立させ、地球温暖化 防止や地下水保全等に配慮した、継続可能な社会形成に積極的に貢献するため、次の事を念頭に置いて事業活動を行っていきます。

- 1. 環境負荷の軽減
- ① 産業廃棄物の分別を重要課題として、3R (再生・再利用・削減) に努めます。
- ② 二酸化炭素排出量の削減に努力します。 (水素カー導入)
- ③ 化学物質を適正に管理します。
- ④ 節電・節水を行います。
- ⑤ エコタイプの資材販売や、機器及び事務用品のグリーン購入を推進します。
- ⑥ 紙資源の削減に努力します。
- 2. 地下水保全
- ①災害時に地域住民の方へ提供する井戸水は定期的に水質検査を行う。
- ② お客様への雨水浸透桝設置及び雨水貯留タンクの設置を促進します。
- ③ 地下水かんようについての意識を高めます。
- 3. 環境関連法規を遵守します。
- 4.継続的改善を意識して環境経営を行っていきます。

改定履歴

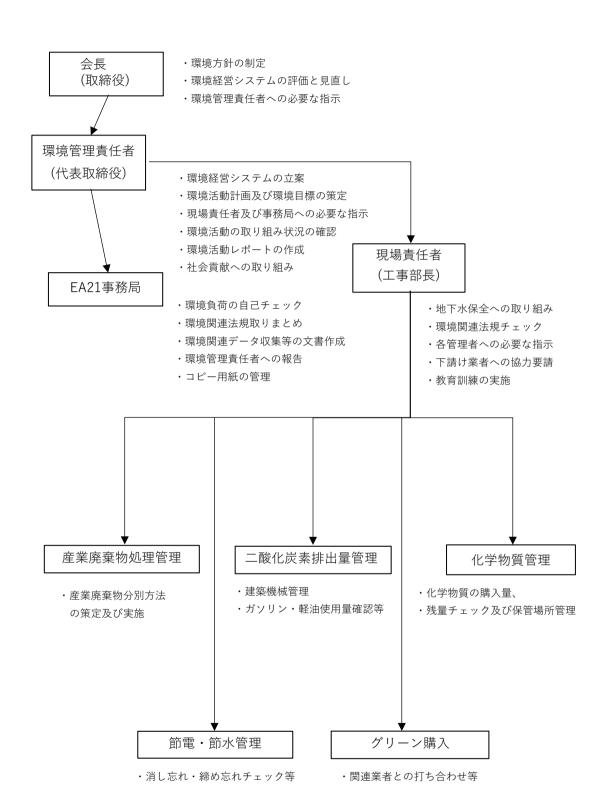
令和6年7月3日

制定日:平成29年12月1日

	. , , ,
令和元年5月1日	代表者の変更
令和2年6月30日	継続的改善の誓約

代表取辞役 田中 和徳

## 3. 環境経営システム実施体制



## 4. 環境負荷の実績 (令和5年度目標値・実績)

Ιį	<b></b> 目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和!	5年度
15	₹ 🖽	(R2.7~R3.6)	(R3.7~R4.6)	(R4.7~R5.6)	目標値(平均値)	実 績
売上	高(万円)	15,417	17,667	17,619	16,901	18,207
二酸化炭素排	出量(kg-Co2)	25,900	22,163	19,468	22,510	17,936
原単位実績	(kg-Co2/万円)	1.680	1.254	1.105	1.346	0.985
電力使用量	t (kWh)	5,839	5,972	6,946	6,252	6,567
原単位実績	(kWh/万円)	0.379	0.338	0.394	0.370	0.361
ガソリン(ℓ)		6,264	5,302	4,902	5,489	4,417
原単位実績	(ℓ/万円)	0.406	0.300	0.278	0.328	0.243
軽 油(ℓ	)	3,153	2,553	1,760	2,489	1,635
原単位実績	(ℓ/万円)	0.205	0.144	0.100	0.150	0.090
水使用量	上水 (㎡)	94	79	65	86	65
小区川里	地下水(㎡)	26	27	27	27	27
産業廃棄物排出量(kg)		47,783	165,950	26,175	79,969	14,450
化学物質使用量(g)		47,750	55,450	43,900	49,033	45,350
環境配慮製品の販売(台)		空調機21台	空調機32台	空調機等25台		空調機等25台
コピー用紙購	入量(枚)	29,500	39,000	35,850	34,783	31,000

<sup>※</sup> 二酸化炭素排出係数は、九州電力の平成27年度 調整後排出係数0.528kg-CO2/kwを使用し算出している。

#### 環境目標(短期目標・中長期目標)

	( ( ( ) \overline{\pi} ) \overline{\pi}   \overline{\pi}	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
項	目	実績値	(R6.7~R7.6)	(R7.7~R8.6)	(R8.7∼R9.6)
			,	, ,	, ,
二酸化炭素排	出量(kg-Co2/万円)	0.986	0.976	0.966	0.956
		_	-1%	-2%	-3%
電力徒田	l量(kWh/万円)	0.361	0.357	0.354	0.350
电刀区用	重 (KVVII//)  ]/	_	-1%	-2%	-3%
ガソロ	ン(ℓ/万円)	0.243	0.241	0.238	0.236
77.7	> (&/)1 1)		-1%	-2%	-3%
軽;	ж (Л/ <b>Т</b> П)	0.150	0.149	0.147	0.146
軽 油(ℓ/万円)		_	-1%	-2%	-3%
	上水 (㎡)	65.0	64.35	63.70	63.05
水使用量		_	-1%	-2%	-3%
	地下水(㎡)	27.0	26.7	26.5	26.2
産廃リサイク	ル率の向上	85%以上	85%以上	85%以上	85%以上
化学物質使	用量(g)	適切な管理、使			
環境配慮製品	の販売(台)	依頼、相談時に			
コピー用紙購入量(枚)		31,000	30,380	29,469	28,290
		_	-2%	-3%	-4%
環境に配慮した施工(苦情件数)		1	0	0	0
社会貢献(回	)	6	4	4	4

<sup>※</sup> 令和5年度実績値は、九州電力の令和5年度 調整後排出係数0.406kg-CO2/kwを使用し算出している。

<sup>※</sup> 令和5年度実績値を基準に、令和6年度から令和8年度までの目標値を算出している。

## 5. 主な環境活動計画と評価

#### ①二酸化炭素排出量の削減の取組み

担当 評価

$\sim$			
	☑ 冷暖房機器の室内温度設定を冷房28°C、暖房20°Cに維持する。	坂本	0
	☑ 中間季は窓やブラインドの開閉により冷暖房機器使用を抑える。	11	0
事	・OA機器の未使用時の電源OFF。	11	0
務	🛛 太陽光発電量及び電力使用量を集計する。	11	0
所	🛛 未使用部屋の不要な照明を消灯し、消し忘れチェックを行う。	11	0
	🛛 車両の急発進、急加速を無くす。	11	0
	🛛 車両の定期点検(オイル交換含む)を実施し、空気圧確認をこまめに行う。	11	0
	☑ 冷暖房機器の室内温度設定を冷房28°C、暖房20°Cに維持する。	鬼塚	0
	🛛 中間季は窓やブラインドの開閉により冷暖房機器使用を抑える。	11	0
	🛛 未使用部屋の不要な照明を消灯し、消し忘れチェックを行う。	11	0
	☑ 建設機械のアイドリングストップの実施。	11	0
	☑使用する建設機械は超低騒音型ならびに排出ガス対策型を使用する。	11	0
現	☑ 車両の急発進、急加速を無くす。	11	0
場	🛛 車両の工具類・荷物を最小限に整理し、軽減すると共に積載量を厳守する。	髙木	0
	・ 車両の定期点検(オイル交換含む)を実施し、空気圧確認をこまめに行う。	11	0
	・ハイブリッドカーの購入。	田中	0
	・2台目の水素カー導入。	11	0
	・環境に配慮した最新機械の導入。	髙木	0
	・ NETIS(ネティス)登録商品の使用。	//	$\circ$

#### ②水使用量の削減の取組み

担当 評価

	☑ 器具はエコタイプ、給水栓は節水コマを使用し最大限に節水する。	坂本	$\circ$
マケ	☑ 担当者を定め、締め忘れチェックをこまめに行う。	11	0
所	🛛 洗車や散水には井水を利用し、又井水メーターを設置し使用量を集計する。	11	0
	🛛 漏水確認を定期的に実施する。	11	0
現	☑ 担当者を定め、締め忘れチェックをこまめに行う。	髙木	0
場	・粉じん防止が必要な工事に置いては、適切な量の散水を心掛ける。	<i>11</i>	0

※散水は必要最小限はできた。

#### ③紙資源の削減の取組み

担当 評価

多務	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	坂本	0
	□ コピー用紙サイズは、最小限にて行う	11	0
	🛛 使用済み用紙・カレンダー等の裏紙が利用出来るように工夫する。	安部	0
現場	☑ 使用済み封筒を再利用する。	11	0

	二类点	<b>左</b> 姗	出活	→ HT	7幺口 フ,
(4/1/	- # 17	`	MII ./mv	()	$/$ Tru $\sigma$

担当 評価

事	図 コピー機・プリンターのトナーカートリッジはメーカーにて定期的に回収してもらい、リサイクルを図る	坂本	0
務	□ 一般廃棄物の分別を徹底する。	11	$\circ$
所	・リサイクル可能な商品の購入する。	11	$\circ$
	・コピー用紙は可能な限り両面使用を推進する。	11	$\circ$
	□ マニュフェストを元に、廃棄物の適正な処理を行う。	齋藤	0
現	🛛 産業廃棄物を種類毎に置き場を決め、分別を徹底する。	11	$\circ$
場	△資材購入時は、梱包・包装材の削減に取組む。	田中彩	$\circ$
	図 品質劣化による不良在庫を減らすため、在庫管理を徹底する。	11	0

#### ⑤化学物質の適正管理の取組み

担当 評価

-	図 有害性の化学物質の取り扱いがある場合は、種類・購入量・使用量を記録し、保管場所を決めて管理を徹底する。			
所	☑ 有害性の化学物質の取り扱いがある場合は、適切な表示を行う。			
	☑ 漏水確認を定期的に実施する。			
現	🛛 現場使用時は、化学物質容器蓋の閉め忘れや、不完全装着を管理する。	村野	0	
場	☑ 現場使用時は、置忘れに注意する。	11	0	

#### ⑥エコタイプの資材販売、及びグリーン購入推進の取組み

担当 評価

_			
	🛛 環境ラベル認定製品を優先的に購入する。	坂本	0
事	図 省エネルギー基準適合品を購入する。	11	0
務所	☑ 社用車はハイブリット車や低燃費車、低排出ガス認定車等の、低公害車への切替えに 取組む。	田中	0
	・水素カー購入。	11	0
現	☑ 顧客への資材販売は、環境に考慮したエコタイプの物を推進する。	田中彩	0
場	☑ 環境ラベル認定製品を優先的に購入する。	11	0

### ⑦環境に配慮した施工の取組み

担当 評価

	図振動、騒音、粉塵、を抑える対策を図り周辺環境に配慮した施工を行う。	髙木	$\triangle$
現	・苦情、クレーム、意見、要望への適切な対策及び対応を行う。	//	0
場	・発電機を使用する際は超静音タイプを選択する。	11	0
☑ 最新機械の導入検討。		11	0

#### ⑧社会貢献の取組み

担当 評価

	☑各種ポランティア活動への積極的参加を推進する。		0
全	・事務所・現場周辺の清掃活動を実施する。	11	0
員	・ 災害時は給水井戸(熊本市登録済み)を開放し地域の皆様へ使用してもらう。	11	0
	🛛 地元住民への修理費は程度により無料や超低額料金に設定する。	11	0

※評価基準:  $\bigcirc$  良くできた  $\triangle$  できた  $\times$  できなかった



(飲料用) 熊本市登録済み ※水質検査済み 令和4年11月22日適合



災害用井戸 (飲料用) 熊本市登録済み ※水質検査済み 令和4年11月22日適合

## 6. 目標の実績と評価 (令和5年度)

項	目	目標	R5.7~R6.6	達成 状況	評価
二酸化炭素排出量(kg-Co2/万円)		1.346	0.986	0	水素カーを導入し、排出量削減につながった。事務所では エアコン使用頻度を下げ、窓の開閉をこまめに行う事で節 電に取り組んだ。現場ではアイドリングストップを徹底し
電力使用量	(kWh/万円)	0.370	0.361	0	た。今後も継続して取り組む。 夜間・休日などのパソコンを使用しない時間帯は電源を落 とし、使用しない部屋の消灯確認に努めた。今後も徹底して
ガソリン(	(ℓ/万円)	0.328	0.243	(i)	取り組む。 水素カーの導入効果が高く出ており、月平均も40ℓ近く減少している。今後も乗り合るなどの対応を継続し、使用量減
			(135.0%)		少に努める。 重機をほとんど使用しない月があったため年間の軽油購入
軽 油(ℓ	/万円)	0.150	(164.8%)	0	量も減少した。建設機械の作業停止の際はエンジンをストップさせた。今後も継続して取り組む。
	上水(m³)	86.0	65.0	0	節水意識の徹底が出来ていた。節水型トイレの効果も見られており、洗車では出来るだけ地下水を利用。また、漏水チェックを定期的に行った。今後も継続して取り組む。
水使用量	地下水 (㎡)	27.0	27.0	0	夏場の打ち水や洗車で多く使用した模様。節水意識を徹底
産廃リサイク	ル窓の向上	85%以上	(100.0%) 85%以上	0	し、継続して使用量削減に取り組む。 産廃置場にて分別管理を徹底した。今後も継続していく。
化学物質使用		適切な管理、使用の推進活動の実践。		0	保管場所の管理を徹底した。今後も購入量の記録をとる。
環境配慮製品の販売(台)		依頼時等における提案活動の実践。		0	積極的に環境配慮製品を購入した。埋戻し材で指定が無い 場合は可能な限り再生材を使用に努めた。
コピー用紙購入量(枚)		31,000		0	公共工事が多くあったが、ミスプリントを減らす努力を継 続して行った。コピー用紙は可能な限り両面使用を徹底す
環境に配慮した施工 (苦情件数)		0	(112.2%)	×	る。今後も継続して取り組む。 農業用水路に伐採した草木がつまり、早急に是正処置をと り完了。
社会貢献(回)				0	取組み期間に6回、現場及び事務所周辺で清掃活動や交通安全啓発活動を実施した。今後も継続して取り組む。

※達成状況判断基準:◎・・・110%以上、○・・・100%以上、△・・・90%以上、×・・・90%未満。(60%未満の場合は是正処置対象)

## 次年度の取組み

項目	取組内容
二酸化炭素排出量(電力使用 量、ガソリン、軽油)	引き続き取り組みを継続する。
水使用量 上水・地下水	引き続き取り組みを継続する。
産廃リサイクル率の向上	引き続き取り組みを継続する。
化学物質使用量	引き続き取り組みを継続する。
環境配慮製品の販売	引き続き取り組みを継続する。
コピー用紙購入量	引き続き取り組みを継続する。
環境に配慮した施工	引き続き取り組みを継続する。
社会貢献	引き続き取り組みを継続する。

# 7. 環境関連法規等の遵守状況

		確認日:令和6年6月1日	髙木
環境関連法規の名称	規制対象業務	順守事項	遵守状況
水質汚濁防止法	生活排水の排出	①公共用水域の水質保全に心がける。汚濁の負荷低減設備の整備に努める。	0
建築基準法	石綿の取扱い	①建築材料への石綿の添加禁止	0
		②増改築時に、原則として石綿除去を義務付け	0
		③工作物についても、石綿に関して建築物同様の規制	0
	シックハウス対策	居室内における化学物質の発散に対する衛生上の措置	
		◆ホルムアルデヒド含有建材の使用面積制限等	0
		◆クロルピリホス (防蟻剤) の原則全面使用禁止	0
		◆24時間機械換気設備の設置原則義務化	0
道路交通法	交通規制	交通公害に係る大気汚染による公安委員会の交通規制への協力	0
浄化槽法	雑排水の放流(浄化	①浄化槽での処理後でなければ、雑排水を公共用水域に放流禁止	0
	槽の設置	②「既存単独処理浄化槽」の使用者は、「合併処理浄化槽」の設置に努める	0
	浄化槽の設置	浄化槽を設置するとき	0
		①都道府県知事等に設置の届出、廃止の届出	0
		浄化槽を設置したとき	0
		①設置後の水質検査(7条検査・11条検査)	0
		②都道府県知事に設置報告書の提出	0
		③保守点検及び清掃並びに水質の定期検査の実施	0
下水道法	公共下水道及び流域	公共(流域)下水道管理者に届出	0
	下水道への排出		
熊本県生活環境の保	特定建設作業の実施	①市町村への届出	0
全等に関する条例			0
騒音規制法			
廃棄物処理法	産業廃棄物の自ら運	産業廃棄物の収集、運搬基準の順守	
	搬	<ul><li>◆運搬車両の車体への表示(運搬車である旨及び氏名又は名称、文字の大きさにも規定あり)</li></ul>	0
			0
	産業廃棄物の運搬、	①委託する産業廃棄物の種類ごとの運搬又は処分(再生含む)の業許可を有する者に委託	0
	処分の委託	②書面による委託契約(省令で定める書面の添付)	0
		③産業廃棄物の処理状況に関する確認を行い、最終処分が終了するまでの処理が適正に行われるための措置を講じる。	0
	マニフェスト	④ その他委託基準の順守	0
	マーノェスト 交付状況等報告	前年度の4月1日から3月31日迄の交付状況を6月末迄に報告する.	0
建設リサイクル法	建設業者の責務	①設計・施工の工夫により建設資材廃棄物の発生抑制、再資源化等の費用の低減に努める	0
	之 以	②再資源化された建設資材を使用するよう努める	0
労働安全衛生法	化学物質の取扱い	SDS(化学物質安全性データシート)の通知	0
消防法	消防計画の作成	管理権原者は、防火管理者を定めて消防計画を作成し、所轄消防長(消防署長)に届出	_
大気汚染防止法		①適切な場所への設置と定期的な清掃	0
フロン排出抑制法	第1種特定製品の設置 (特定製品の管理者)	②簡易点検の実施、③定期点検の実施	0
		④フロン漏えい等を確認したとき、修理措置(未修理機器への冷媒充填原則禁止)	0
	H /	⑤機器ごとの点検・整備に係る記録と記録簿の保存	0
建設業法	建設業許可	5年毎の更新(令和6年2月)	0
※環境関連法規	- 現制等の遵守状況の	I 評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。	

<sup>※</sup>関係機関からの指摘、利害関係者からの違反・訴訟の問題は過去5年間ありません。

## 8. その他活動



社会貢献活動状況 (㈱HACCYOU周辺) 令和6年4月20日実施



社会貢献活動状況 (㈱HACCYOU周辺) 令和6年4月20日実施



社会貢献活動状況 (㈱HACCYOU周辺) 令和6年4月20日実施



社会貢献活動状況 (秋津三丁目公園周辺) 令和6年4月1日実施



社会貢献活動状況 (秋津三丁目公園周辺) 令和6年4月1日実施



安全教育訓練状況 AEDの使用方法確認訓練 令和6年4月1日実施



安全教育訓練

緊急連絡方法実践訓練

令和6年1月12日実施



HACCYOU事務所內避難訓練状況

令和6年5月17日実施



HACCYOU事務所內避難訓練状況

令和6年5月17日実施



HACCYOU事務所内避難訓練状況 (水汲み状況)

令和6年5月17日実施



異常気象による大雨時の 想定浸水深確認

令和6年5月17日実施



異常気象による大雨時の水位 想定浸水深確認

令和6年5月17日実施

#### 9. 代表者の評価と見直し

毎年大規模な自然災害が発生することが社会ではあたりまえのようになった今般、事業を継続して行く事を最優先と考慮せざるを得ない状況となってきました。

弊社では環境意識を向上させるためにも今年は熊本県SDGs登録に向け社員一丸となって取り組み、認定を受けることができました。

これまでのエコアクション21の取り組みに加え、内容が共通する部分も 多いことから経済産業省認定制度である「事業継続力強化計画」の認可を 受けるため単独型及び連携型(熊本市管工事協同組合を通じて)両方におい て努力していく決意です。

これからも地域社会への貢献も行いながら、環境への配慮も怠らず従業 員及びその家族全員が健康で幸せな生活が送れるよう、皆で協力し、意見 を出し合い環境経営の発展に繋げて参ります。

対象	変更の有無	評価・見直し	
環境方針 無 今後も環境経営方針を軸に取り組みを行うこと。		今後も環境経営方針を軸に取り組みを行うこと。	
計画・目標	無	継続して取り組むこと。	
実施体制	無	それぞれの役割で責任感を持ち継続して取り組むこと。	
その他 無 継続して取り組むこと。		継続して取り組むこと。	

令和6年10月1日 株式会社 HACCYO 代表取締役 田中 和徳



令和6年度 熊本市優良工事表彰受賞 表彰状



令和6年度 熊本市優良工事表彰受賞 表彰式 令和6年7月23日



令和6年度 熊本市優良工事表彰受賞 表彰式 令和6年7月23日